

因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏 連携事業進捗状況調書

(令和4年9月末時点)

連携中枢都市圏ビジョン懇談会
令和4年12月8日

ア 圏域全体の経済成長のけん引

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I				
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R4)	R4年9月末 現在値	R4年度末 見込
1	ビジネスサポート 体制検討事業	圏域全体の起業支援、産業育成のためのビジネスサポート体制の検討を進める。	<p>【鳥取市】ビジネス課題を有する企業に、外国人留学生等の受入れを実施し、課題研究を行う「外国人留学生就労支援事業」を実施している。 令和4年9月末時点 2名実施</p> <p>※外国人留学生地域就労支援事業・・・高い語学力や優れた国際感覚を有する外国人留学生に、圏域の経済成長を担う貴重な人材として定着・活躍してもらうことで、企業の国際競争力の強化や、新たな市場開拓・取引機会となる海外展開を促進。圏域の事業者と外国人留学生に対して準備セミナーや補助金支給などの伴走型支援を行う。</p> <p>【八頭町】起業機運醸成セミナー…新型コロナウイルス感染対策によりオンライン開催。 【若桜町】企業誘致環境及び企業内コミュニケーションの向上を図るため、外国人就労者を雇用する事業者に対し、日本語講座・日本語検定にかかる費用を助成。</p>	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	ビジネス課題事例研究数 (件)	0	4	2	4
2	起業・創業支援事業	民間の創業支援事業者（地域金融機関、NPO法人、商工会議所・商工会等）と連携し、ワンストップ相談窓口の設置、創業セミナーの開催、チャレンジショップ事業等の創業支援を実施する。	<p>【鳥取市】鳥取県東部圏域の自治体・民間事業者で連携して創業支援等事業を行った。まちづくり融資～リノベーション創業型～、リノベーション型まちづくりファンドによる投資により、まちづくり事業に対する支援を行う。 R4.9末現在 まちづくり融資活用0件(累計6),まちづくりファンド活用0件(累計2)</p> <p>【岩美町】岩美町商工会と連携して創業者に対する事業計画策定支援、創業補助金の交付を行った。R4年度実績50万円×2件 【若桜町】新規創業・開業支援補助 H29:2件200万円 H30:2件200万 R1:3件295万円R2:4件312万円 R3:1件100万円 R4予定:1件100万円 【智頭町】新規創業・開業支援 R4実績見込6件 3,000千円 【八頭町】出る杭を伸ばす事業者応援補助金（起業創業型）交付申請数3件 【香美町】香美町商工会と連携して創業支援セミナーを開催（年5回）し、企業者に対するの補助金を交付する50万円/1件 ・創業支援セミナー 6/9～6/30(座学4回) ・個別相談 6/9～7/8(延べ14回) ・ワンストップ相談窓口 香美町商工会(通年実施：20件) ・起業・創業支援事業補助金 1件:500千円 【新温泉町】・創業セミナー 9/7～10/5 全5回実施 ・ワンストップ相談窓口 新温泉町商工会（通年実施）、サンシーホール浜坂（毎月第2・第4木曜日）で実施 ・起業支援補助金</p>	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	創業者数 (人)	115	115	17	126
3	圏域内の事業者に向けたセミナー開催事業	圏域全体の事業者を対象に、生産性向上、販路開拓、ワーク・ライフ・バランスなどさまざまなテーマで経営改善等につながるセミナーを開催する。	<p>【鳥取市】 ●若手社員職場定着促進事業研修 未開催 ●DXセミナー 計14人（7/22 10人、8/4 4人） ●人材確保促進事業セミナー 未開催 ●働き方改革セミナー 未開催 ●中小企業大学サテライトゼミ 未開催 【岩美町】ビジネスマッチングセミナー等 4/21開催1名、6/27開催3名、7/11開催7名、7/20開催3名、7/27開催2名、8/22開催5人 9/6開催7人 合計28名参加 【香美町】ワーク・ライフバランスの推進により働きやすい職場環境を創出しようとする企業への支援として周知しているが申請がないため、今後はセミナーを開催し、参加を募ることを検討する。</p>	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	セミナー参加者数 (人)	75	132	42	88
4	地域商社活用事業	営業力や受発注・決済機能・物流機能、コンサルティング機能を持ち、既存商品・産品に加え市場化されずに眠る有望な地域資源を圏域外へ販路開拓・拡大することを目的とした商社事業を展開する。	<p>■圏域の農水産物や食品加工品を中心に圏域外への販路開拓と販売を行う商品流通事業を実施。新型コロナの感染防止に留意しつつ、関西（兵庫県南部地域中心）・山陽方面への出張商談を積極的に実施。金融機関取引先へアプローチを続けた結果、青果・精米の自社配送による姫路・尼崎へ定期納品を実施中。また、従来より推進していた鳥取県産米の県外出荷先に関しても、新規取引先を開拓。今後の取扱い量増加へ取り組んでいく。</p>	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	新規取引業者数（生産団体も含む）	10	35	8	20

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I				
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R4)	R4年9月末 現在値	R4年度末 見込
5	関西事務所運営事業	関西事務所に職員を配置し、鳥取県関西本部などとの連携を図りながら、関西圏や中四国、中京圏域などにおいて、鳥取・因幡圏域の広報宣伝活動や企業訪問等を実施する。	関西事務所において、企業誘致推進、観光情報発信における企業訪問を行った。 【鳥取市】67件 (9月30日現在：企業誘致訪問48件+観光情報発信19件) 【八頭町】33件 (9月30日現在：企業誘致訪問28件+観光情報発信5件)	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	企業訪問件数 (件)	60	85	95	135
6	広域的道路網整備促進事業	関係市町と連携し、圏域内の山陰近畿自動車道の未整備区間の早期整備、鳥取自動車道の付加車線及び志戸坂峠別線バイパスルートの早期整備、美作岡山道路の延伸等を促進するため、関係機関に対する要望活動、啓発活動及び道路整備の際の環境整備を積極的に実施する。	【道路関係3期成会（山陰道、鳥取道、山陰近畿自動車道）】 6月3日 道路関係3期成会総会 ※新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、web開催 7月6日 鳥取河川国道事務所・倉吉河川国道事務所への要望活動 7月19日 中国地方整備局への要望活動（広島） 【美作岡山道路北部延伸】 7月20日 鳥取河川国道事務所への要望活動 8月8日 中国地方整備局への要望活動（広島） ※新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、web実施 8月26日 国土交通省への要望活動（東京） ※新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、web実施 ●連携による効果・成果 要望活動の実施等により道路整備が推進された。	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	要望活動数 (回)	4	8	6	7
7	森林保全推進事業	作業道の整備や間伐の促進、竹林の間伐等により、健全な森づくりを推進する。	【鳥取市】作業道の整備や間伐の促進、竹林の間伐等に要する経費を支援中 作業道開設L=57,150m,林業専用道開設L=2,450m,間伐面積A=567ha 【岩美町】作業道の整備や間伐等に要する経費を支援(令和4年3月に事業主体へ補助金交付)作業道開設L=5,900m,間伐面積A=30ha 【若桜町】作業道開設 L=3,330m、間伐面積 A=40.34ha 【智頭町】作業道開設2,318m、間伐面積0ha 【八頭町】作業道整備 318m、間伐面積 72.28ha 【香美町】作業道開設補助2,467m 条件不利地間伐等198ha 【新温泉町】作業道開設補助3,650m 間伐面積31.83ha	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	鳥取・因幡圏域の間伐面積 (ha)	1,416	1,734	174	1,263
8	林業従事者支援事業	移住希望者等へ情報発信を行うとともに、林業労働者の確保及び就労条件の改善を図るための支援を行う。	【鳥取市】林業労働者の雇用条件の改善に努め、担い手育成を促進するため、雇用開始から5年目までの市内在住の林業労働者に係る健康保険、雇用年金の事業主負担に対し、経費の一部を助成。（県：1/4、市：1/4） 【岩美町】○林業労働者の雇用条件の改善に努め、担い手育成を促進するため、雇用開始から5年目までの町内在住の林業労働者に係る健康保険、雇用年金の事業主負担に対し、経費の一部を助成する。（県：1/4、町：1/4） ○公益財団法人鳥取県担い手育成財団へ共済年金掛金、年末一時金支給の一部を助成。 【若桜町】林業労働者の確保及び就労条件の改善を図るため、社会保険掛金等経費を町助成。また、大学生等が借り入れた奨学金の返還額の一部を町助成。その他、林業労働者福祉向上推進事業による市町村負担分を負担。 【智頭町】林業労働者の雇用条件の改善を図るため、健康保険料及び厚生年金の一部を支援する。 【八頭町】○鳥取県森林整備担い手育成総合対策事業費補助金（雇用条件改善事業（社会保険料掛金助成事業））により、町内在住の林業労働者（雇用開始から5年以内）の負担する健康保険料及び厚生年金を補助する。（県：1/4、町：1/4） ○林業労働者福祉推進事業費補助金による市町村負担分を324,794円負担し、林業労働者の確保及び就労条件の改善に寄与する。	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	林業労働者雇用条件改善事業実施者数（各年毎健康保険・農林年金への補助者数）（人）	43	43	33	37

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I				
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R4)	R4年9月末 現在値	R4年度末 見込
9	稚貝・稚魚放流事業	内水面や沿岸における稚貝や稚魚の放流や資源管理を図る。	<p>【鳥取市】・内水面漁業協同組合等が行う稚魚放流に要する経費を支援。(放流量3.85t) ・沿岸漁協が行う放流支援を実施中</p> <p>【岩美町】稚貝・稚魚の放流 アワビ 27,000個、サザエ 17,000個、キジハタ 2,094尾</p> <p>【若桜町】ヤマメ稚魚約3,000匹・イワナ稚魚約2,800匹を11月上旬に放流。</p> <p>【八頭町】ヤマメ稚魚約3,000尾の放流を行った。</p> <p>【香美町】内水面事業＝アユ1,100kg、ウナギ種苗25kg、ヤマメ17,000尾、イワナ3,000尾 海水面＝クロアワビ12,000個、サザエ20,000個、カサゴ5,000尾、キジハタ2,000尾</p> <p>【新温泉町】 内水面事業＝鮎稚魚500kg、ウナギ稚魚10kg、モクスガニ50kg、ヤマメ成魚6,000匹、フナ稚魚1,000匹、イワナ稚魚500匹、サケ発眼粒50,000粒、サクラマス発眼粒50,000粒 海水面＝クロアワビ8,500個、カサゴ5,000尾、ヒラメ100,000尾、マダイ200,000尾、キジハタ1,000尾、サザエ20,000個</p>	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	放流数 (トン)	7.075	6.485	5.890	7.280
10	漁業雇用促進対策事業	移住希望者等へ情報発信を行うとともに、漁労技術の習得研修や漁業への就業支援を行い、就業者確保を図る。	<p>【鳥取市】鳥取県漁業協同組合等が海面漁業への就業を希望する者に対して行う漁労技術等の習得研修に要する経費を支援。(雇成型4名、独立型5名)</p> <p>【岩美町】研修生(沖合底びき網漁業及び定置網漁業 雇成型：13名、独立型：2名) *1月以上研修を実施した者の数</p> <p>【新温泉町】実施なし</p>	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	研修実施者数 (各年毎) (人)	52	52	24	24
11	特産品生産促進支援事業	白ネギの特産化を図るため、東部圏域で行う生産・販路拡大に対して支援する。	アスパラガス、ブロッコリー及び生姜などのJA鳥取いなば管内で生産拡大を図るため、アスパラガス、ブロッコリー及び生姜などのJA出荷に対する奨励金を交付するなど、農業者の負担軽減を図った。また、一定程度の生産拡大が達成された白ネギについては、継続して生産振興を図った。	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	白ネギの作付面積 (ha)	60	80	59	63
12	農産物販路拡大支援事業	農産物の新たな販路の強化・拡大を行い、圏域農産物の販売促進を図る。	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、4月から8月にかけては対面形式のマルシェ開催が困難だったことから、圏域内の従前の顧客を中心に、宅配マルシェ(野菜・果樹)を開催し、圏域内の農産物や加工品のPRを行った。</p> <p>また、同様の理由により現地商談会の開催が困難であったため、(株)地域商社とっとりによる取引先等の個別訪問やWebによる商談(野菜、果樹)を実施した。</p> <p>一方で、アフターコロナを見据え、9月から関西圏を中心に、対面型のマルシェを約2年半ぶりに再開し、因幡圏域の農林水産物の販路拡大を図った。</p>	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	関西圏での合同直販市の開催 (回)	1	2	0	1
13	地域おこし協力隊導入事業	三大都市圏等から地域おこし協力隊員を招致し、地域活性化に係る諸課題の解決と後継者確保対策を推進する。また、隊員のネットワーク促進など隊員の活動充実に向け、圏域情報の共有と連携を推進する。	<p>【鳥取市】吉岡温泉地区活性化(1名:8月まで)、用瀬地域の伝統行事の後継・育成(1名)、河原町西郷地区文化芸術活動を通じた活性化(1名)</p> <p>【岩美町】きなんせ岩美(1名)、農業振興(1名)</p> <p>【若桜町】活動中の隊員なし。</p> <p>【智頭町】原木椎茸の生産・森林整備(1名)、石谷家住宅の文化財観光活性化(1名)</p> <p>【八頭町】鳥獣対策部門(1名)、道の駅はっとうにおける特産品販売・振興(1名)、観光情報発信・移住定住部門(1名)、観光協会を拠点とした観光振興推進(1名)、有機野菜の生産・プロジェクト推進(1)</p> <p>【香美町】高校支援教育コーディネーター(1名)、移住就活コーディネーター(1名)、小代内水面漁業承継業務(1名)、梨生産技術承継業務(1名)</p> <p>【新温泉町】道の駅活性化(1名)、観光振興支援(1名)、温泉振興(店舗運営)(5名)、地産地消推進(1名)、地域振興(1名)</p> <p>情報交換会の実施を検討していたがコロナ禍の中実施できていない。今後は、オンライン(ビデオ会議)などを活用して情報交換会の開催を検討している。これにより、圏域内隊員のネットワーク化の支援と情報共有の促進を図っていきたい。</p>	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	地域おこし協力隊配置数(人)	43	38	25	27

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I				
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R4)	R4年9月末 現在値	R4年度末 見込
14	農業担い手育成塾 運営事業	鳥取・但馬圏域内の新規就農者及び関係団体 等で構成する(仮称)「麒麟のまち・みらい 農業ねっとわーく」を創設し、以下の事業を 実施する。 (1) 情報共有(携帯メール配信等) (2) 研修・情報交換会の開催(座学研修、 圃場研修、事例発表等)	【鳥取市】 鳥取県農業改良普及所やJA等と連携し、新規就農者の営農状況確認のため、ほ場を巡回し新規就農者と会って聞取りや助言をした。現地確認後、関係機関で現地確認結果検討会を行い、今後指導・助言が必要な事項を話し合い、情報共有を図った。 なお、鳥取市農業士会が新規就農者を対象とした夏期研修会を7月に企画したが、新型コロナウイルスの影響により中止した。	B:コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	登録会員数 (人)	0	117	15	28
15	農業IT化促進事業	鳥取・但馬圏内の自治体及び農商工関係団体 等で構成する(仮称)「麒麟のまち・スマート 農業推進会議」を創設し、以下の事業を実施する。 (1) 情報収集・発信(メール配信等) (2) 研修・情報交換会の開催(座学・圃場 研修、事例研究等)	【鳥取市】 鳥取県農業改良普及所・JAと連携した新規就農者のほ場巡回により、新規就農者の営農状況を確認、営農指導を行った。また、(一財)鳥取市農業公社と連携したスマート農業機器(ドローン)の防除等デモンストレーションやスマート農業機器の導入支援を行うなど、若い生産者に対し、スマート農業機器の導入のPR及び普及促進を行った。	A:コロナ禍により中止、影響が大きい	研修会延べ参加 者数(人)	0	110	0	16
16	麒麟獅子舞を生かした圏域活性化事業	日本遺産の認定により、圏域に受け継がれる 麒麟獅子舞の魅力を情報発信、普及啓発し、 圏域の活性化につなげるとともに、保存会等 とも連携を図り、麒麟獅子舞の次世代への保 存・継承を図る。 ・麒麟のまち連携コンセプト等について域内 住民への浸透を図る ・博物館や展示施設での麒麟獅子関係巡回展 の実施 ・その他麒麟獅子舞の情報発信、普及啓発に つながる各種取組の実施	【日本遺産「麒麟のまち」推進協議会事業】 ○情報発信:国内向けプロモーション活動 ・麒麟のまち推進協議会のホームページでの情報発信 ・台湾向け鳥取市ホームページへ日本遺産「麒麟のまち」ページを配信 ・欧米向け動画の配信 ○普及啓発:麒麟獅子舞の観光体験プログラム化事業 ・各市町の観光施設、各種イベントなどでの麒麟獅子舞の演舞 (9月末6回実施) ・子ども向け麒麟獅子舞の披露及びワークショップ開催 (10/2:コロナで延期10/29) ・モニターツアーの実施(11/3海編、11/22雪編) ○その他:麒麟のまち圏域内外でのPR活動	C:コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	圏域への観光入 込客数(人)	4,764,000	800,000	未確定 ※鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしており、県の発表が次年の8月頃。 【参考】令和3年: 4,415千人	
17	麒麟のまち関西情報発信拠点での情報発信等エリアプロモーション推進事業	麒麟のまち関西情報発信拠点において、麒麟 のまち圏域での広域連携によるエリアプロ モーション事業を展開し、交流人口の増加、 移住定住の促進、地元産品の販路拡大を図 る。また、マスコミ・メディアの本社が集中 する首都圏において、各種情報の発信を行 い、圏域の認知度アップ、イメージアップを 図る。	【鳥取市】 新型コロナウイルス感染症の対策として、感染拡大期には、土日祝日休業などの措置を行いながら営業を行っている。7月より月1回(2日間)ときめき鳥取マルシェ(FELL GOOD TOTTORI)開催して、圏域の旬な野菜・果物や特産品の販売を再開して、店舗と連動して販路拡大に努めている。 ・ジオパークPR企画(ジオパークの景色を店内及び外壁のモニターディスプレイで紹介) ・麒麟のまち5周年記念イベント 5月(地酒(約25種)30分500円(税込)呑み放題) ・ときめき鳥取マルシェ(FELL GOOD TOTTORI) 7月より月1回(2日間) ・圏域フェア(鳥取市編) 8月 夏の鳥取の味覚白イカのメニューの販売	B:コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	圏域への観光入 込客数(人)	4,764,000	8,000,000	未確定 ※鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしており、県の発表が次年の8月頃。 【参考】令和3年: 4,415千人	
18	インターネットショップ事業	圏域内の物産のイメージアップやブランド化 のため鳥取市が運営するインターネット ショップ「とっとり市(いち)」への出店を 麒麟のまち圏域に拡大し、圏域一体となった 物産の振興を図る。	「とっとり市(いち)」関連規約を変更し、麒麟のまち圏域からの出店および生産された商品の取扱いを可能とした。 圏域出店店舗数 32店舗 商品数 418商品	C:コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	出店店舗数 (店)	110	152	199	208

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I				
					指標（単位）	基準値 (H28)	目標値 (R4)	R4年9月末 現在値	R4年度末 見込
19	鳥取市公設地方卸売市場再整備・活用事業	鳥取市公設地方卸売市場の再整備を行い、食品流通の拠点としての機能を強化することで、圏域全体の事業者の市場の活用を促進し、市場の取扱高を増加させ、圏域全体の経済成長をけん引する市場とする。	鳥取市公設地方卸売市場の再整備により、圏域の食品流通の拠点としての機能強化を図り、圏域の事業者の市場活用を促す。 【令和3年度】 令和7年度での全面供用開始を目標に、参加事業者との調整を行い、令和3年度に再整備に係る事業促進のため事業協力者の参画を得、施設配置計画等の提案を受け、市場参画事業者との合意形成を行うことに併せ、設計・施工の性能発注に向けた要求水準書等の作成のため、アドバイザー業務・土壌汚染調査業務・地盤調査業務・アスベスト確認業務の委託を行い、各種書面を作成した。 【令和4年度】 4月21日より公募型プロポーザルにより事業者募集、8月に審査会を経て仮契約したのち、9月22日に契約締結し、再整備事業の基本設計に向けた協議を開始。併せて、工損調査等の各種調査の準備にかかっている。	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	取扱高（千円）	8,561,077	7,340,755	3,560,680	7,049,775
20	物産振興体制強化事業	特産品及び伝統工芸品等の販路拡大を図るため、鳥取市観光コンベンション協会に物産機能を整備するとともに、民芸や加工品を展示・販売する物産展へ出展し、PR販売を行うことで物産事業の振興・観光事業の発展・地産地消の推進を図る。	観光コンベンション協会の事業として、物産会員数を増加させるとともに、その会員から商品を受け、店頭販売、出展販売、掛売・客注販売及びネット販売を行う。 ・まちパル鳥取に、ふるさと物産館を設置 ・物産展へ出展 【令和4年度実績（9月末時点）】 物産会員数 104会員（R4.9.30時点） （令和4年度 新規会員 2会員、退会会員 0会員） 物産展への出店 5回 県内 3回 県外 2回 ※新型コロナウイルス感染症の影響により県外での現地出展はなし。	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	ふるさと物産館での購入客数	10,251	13,165	4,074	7,727
21	駅前太平洋線バード・ハット利用促進事業	麒麟のまち圏域内各市町の地域振興に関わるイベント（行政系）等をバード・ハットで開催する際は使用料を免除し、交流人口の増加を図る。	●開催実績（来場者数）※9月末時点 0件	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	利用回数（回）	0	2	0	1
22	地域連携DMO「一般社団法人麒麟のまち観光局」支援事業	地域連携DMO「一般社団法人麒麟のまち観光局」が行う鳥取・因幡圏域の観光素材の開発・普及及び県内外への観光広報宣伝活動の実施を支援する。 ※鳥取県東部・兵庫県北但西部1市6町のDMO設立による拡充	●圏域マネジメント ・DMO独自WEBアンケートの実施及び調査結果分析による観光マーケティング（回答目標：4,000件/年） ・鳥取市観光コンベンション協会ホームページを基盤とする圏域情報連携の強化 7月1日～圏域情報公開開始 ●コンテンツ・流通整備・受入環境整備 ・食を切り口にした観光消費拡大施策の展開（グーグルビジネスプロフィールの普及） 圏域内飲食店を対象としたセミナーの開催：各回定員30名 7/27（八頭会場）、8/3（鳥取会場）、8/10（但馬会場） 9/12（鳥取会場）、9/14（八頭会場）、10/12（但馬会場） 8月末現在117店舗登録 ・観光体験メニュー販売サイトでの販売促進キャンペーンの実施 第1弾：7月1日～8月10日 第2弾：7月25日～9月30日 第3弾：10月20日～1月31日 ・3DMO連携による山陰海岸ジオパークを共通テーマとする周遊ルート造成 関東発5コース造成済み（順次旅行商品販売開始） 関西発5コース造成済み（ // ） ・圏域周遊事業の実施（インスタグラムフォトコンテスト） 7月22日～「きりんのまちポートレート2022」開始 ●その他事業 若桜鉄道、智頭急行、大江の郷など圏域の民間事業者のコンサルティング事業の実施。	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	圏域への観光入込客数（人）	4,764,000	8,000,000	未確定 ※鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしており、県の発表が次年の8月頃。 【参考】令和3年：4,415千人	

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I				
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R4)	R4年9月末 現在値	R4年度末 見込
23	国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会支援事業	各市町が連携し、国道29号周辺地域の活性化のための情報発信やイベントの開催、沿線整備を行う。 ※日本風景街道新因幡ライン事業の実施に伴う拡充	<ul style="list-style-type: none"> ●国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会総会 承認 (令和4年5月24日) ●日本風景街道新因幡ライン沿線自治体等連絡協議会総会 承認 (令和4年5月24日) ●鳥取三十二万石お城まつり (鳥取市) において国道29号沿線の地域資源PR活動 (令和4年9月23日) ●日本風景街道「新因幡ライン」インスタ投稿キャンペーン実施予定 (令和4年10月1日～令和5年1月31日) ●1129 (イイニク) 感謝祭実施予定 (令和4年10月下旬) ●ニク (29) ロードスタンプラリー実施予定 (令和4年10月下旬～令和4年12月中旬) 	B: コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	圏域への観光入込客数 (人)	4,764,000	8,000,000	未確定 ※鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしており、県の発表が次年の8月頃。 【参考】令和3年: 4,415千人	
24	鳥取自動車道活性化協議会支援事業	鳥取自動車道活性化協議会が行う因幡連携事業やフォトコンテストなどのPR事業を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ●定時総会 (書面決議) 承認 (令和4年8月8日) ●WEBサイト「トリベラー」の運営 ●写真共有Webサイト「とりフォト.写真館」の運営 ●YouTubeチャンネルの運営 ●Instagramを活用した情報発信 鳥取市を中心に活動するアマチュアカメラマン兼インスタグラマーによる投稿 (21記事)	D: 計画どおり実施、もしくは実施見込み	圏域への観光入込客数 (人)	4,764,000	8,000,000	未確定 ※鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしており、県の発表が次年の8月頃。 【参考】令和3年: 4,415千人	
25	外国人観光客受入事業	各市町が連携し、外国人観光客の誘客や受入環境の整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ●台湾でのプロモーションの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・Facebookでの情報発信 (年間) ・8/30～10/15鳥取市観光情報PRサイト内で投票参加型イベントの開催 ・台湾インフルエンサーの招へい・各種情報発信 (12月～3月実施。ブログ・YouTube・SNS・鳥取市観光情報PRサイト等で発信予定。) ●受入環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・国際観光客サポートセンターの運営 (外国人観光客案内所として、英・中・韓スタッフ4名を配置) ・多言語観光パンフレットの制作 ●欧米豪外国人旅行者国際観光推進委託事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・地域情報多言語発信サイト内への誘客コンテンツ特集ページの作成 (11月～3月実施予定) 	A: コロナ禍により中止、影響が大きい	国際観光客サポートセンターの利用者数 (人)	10,000	13,000	248	500
26	因幡・北但西部周遊バス運行支援事業	因幡・北但西部圏域を周遊するバスツアーの企画及び運行の支援を行う。 ※既存コースの見直しと新規コースの開発による拡充	<ul style="list-style-type: none"> ●鳥取・因幡を周遊するバスツアー (2コース、7便) <ul style="list-style-type: none"> ・東コース (国府) 7/22・7/29 催行 ・ジオコース (鳥取砂丘・浦富海岸) 7/30・8/20・8/27・9/10・9/17 催行 ※8/6・9/3は中止 ●乗車人数: 計83人 	C: コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	圏域への観光入込客数 (人)	4,764,000	8,000,000	未確定 ※鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしており、県の発表が次年の8月頃。 【参考】令和3年: 4,415千人	
27	浦富海岸・鳥取砂丘エリア観光二次交通運行協議会支援事業	浦富海岸及び鳥取砂丘エリアを観光周遊するボンネットバスの運行の支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ●バス愛好家さんこだわりコース (定員10名・全2回) 鳥取市内及び岩美町内の海岸線や街並みをめぐりボンネットバスの旅を楽しむコース。(5/14、9/25) ●アニメの世界へようこそコース (定員10名・全8回) 岩美町及び鳥取市内のアニメロケ参加地を巡るコース。(6/25、6/26、9/10、9/11、10/22、10/23、11/12、11/13) 	D: 計画どおり実施、もしくは実施見込み	圏域への観光入込客数 (人)	4,764,000	8,000,000	未確定 ※鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしており、県の発表が次年の8月頃。 【参考】令和3年: 4,415千人	

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I				
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R4)	R4年9月末 現在値	R4年度末 見込
28	山陰海岸ジオパークを活用した広域観光推進事業	研修会の開催、案内看板の設置、リーフレットの作成等を行い、山陰海岸ジオパークの普及・啓発を行う。また、ジオガイド研修会等を開催し、ジオガイドの養成を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ●山陰海岸ジオパークの見どころをPRするポスターの作成。ジオサイトに設置の案内看板や、砂の美術館に設置している世界ジオパークの展示の整備。 ●ガイド交流会・養成講座の実施 新型コロナウイルス感染拡大のため未実施。秋冬の実施に向けて企画調整中。 	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	圏域への観光入込客数 (人)	4,764,000	8,000,000	未確定 ※鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしており、県の発表が次年の8月頃。 【参考】令和3年：4,415千人	
29	観光大学運営・活用事業	圏域内のホスピタリティー向上に向け、鳥取市で実施している観光マスター育成制度を圏域内へ拡充する。	<ul style="list-style-type: none"> ●第17期鳥取市観光大学 (予定) 受講者：圏域内宿泊事業者等 名 鳥取観光マスター認定者： 名 通算のマスター認定者：544名 日程：令和5年1月5日 (木)～2月3日 (金)までの5日間 開校式、座学、現地研修 2月9日 (木) 筆記・面接試験 13日 (月) 実地試験 (タクシードライバー対象) 3月1日 (水) 鳥取観光マスター認定証授与式 講義内容：観光の動向、鳥取民藝、コロナ禍のおもてなし、外国人観光客への接し方、食のみやこ鳥取県、鳥取城、麒麟獅子舞日本遺産など 	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	観光マスター新規認定者数 (人)	40	40	0	30
30	砂のルネッサンス連携事業	大学生を中心とした砂像選手権の開催や、幼児と保護者を対象とした砂場教育等を通じて、砂像文化・砂文化の醸成を図り、圏域全体の観光振興に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取砂のルネッサンス2022 ○鳥取砂のまつりin賀露 <ul style="list-style-type: none"> ・目的 多くの人の目に触れる会場で砂像を展示し、砂像のまちのブランディングと砂像文化の醸成に寄与する。 ・内容 賀露わったいな特設会場で地元市民が公開砂像制作及び展示を予定。幼児等に砂に触れさせる機会を提供する「あそびのすなば」を開設予定。 ・期間 令和4年10月29日～10月30日 ○すなばようちえん <ul style="list-style-type: none"> ・目的 幼少期から砂に触れる機会を設け、砂遊びなどを通じて砂に関わる人材の育成、砂文化の醸成を図る。 ・内容 賀露特設会場で希望する保育園、幼稚園を対象に実施予定。(16園参加予定、実施期間10/19～11/11) ○砂アカデミー 幼・保・小保育者向け砂場保育研究会 <ul style="list-style-type: none"> ・目的 保育における砂遊びの課題解決及びを上質化を図る。 ・内容 保育担当者を対象とした実践研修、座学研修を実施予定。 	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	圏域への観光入込客数 (人)	4,764,000	8,000,000	未確定 ※鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしており、県の発表が次年の8月頃。 【参考】令和3年：4,415千人	
31	若者の地元定着促進事業	圏域の高校生を対象にした圏域企業見学会を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ①人事担当者による高校での企業説明会に取組内容を変更 参加予定高校：鳥取商業高校60人(11/17予定) ②出張企業説明会参加予定企業：延べ6社 (6社) ③小規模企業見学会(locus) 鳥取西高校1年生(7/20)282名・42社 鳥取商業高校1年生(10/7)予定154名・38社 八頭高校2年生 (11/1) 予定156名・13社 	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	企業見学会参加人数 (人)	650	840	311	729
32	国際経済交流推進事業	国際的な経済・観光交流促進を目的に設置している「鳥取市国際経済発展協議会」で実施する情報発信や貿易相談サポート等の業務について、支援対象範囲を麒麟のまち圏域に拡大する。	<ul style="list-style-type: none"> (1) 企業の海外進出及び海外販路開拓等の海外展開に関する貿易相談・サポート →オンラインを活用し、現地とのやり取りをサポートした。 (2) 海外商談会・経済ミッション等支援及びマッチング →新型コロナウイルス感染症の影響により、海外商談会への参加や来訪団体とのマッチングは実施できていない。 (3) 国際観光 (通訳等) の推進やインバウンド需要の取り込み。 (4) 翻訳・通訳支援 (主に企業・行政等対応) →新型コロナウイルス感染症の影響によるインバウンド客の減少により、件数はビフォーコロナ・目標値を大きく下回っている。 	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	インバウンド需要取り込みに向けた観光パンフレットなどの翻訳支援件数 (件)	141	166	7	15

イ 高次の都市機能の集積・強化

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I				
					指標（単位）	基準値 (H28)	目標値 (R4)	R4年9月末 現在値	R4年度末 見込
33	鳥取市立病院、岩美町国民健康保険岩美病院、国民健康保険智頭病院の地域医療研修協力事業	鳥取市立病院の初期及び後期研修医師が岩美町国民健康保険岩美病院及び国民健康保険智頭病院において、地域医療研修を行う。	鳥取市立病院の初期研修医（2年目）2名がそれぞれ1名ずつ岩美町国民健康保険岩美病院（令和4年7月）及び国民健康保険智頭病院（同年9月）で1か月の地域医療研修を行った。	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	本事業を継続して実施	実施	継続	継続	継続
34	鳥取市立病院と国民健康保険智頭病院の医師の相互派遣事業	地域医療を確保するため、智頭病院の医師が充足していない診療科へ医師派遣を行う。	市立病院の泌尿器科・外科・総合診療科（総合診療科は9月まで）の医師が智頭病院で診療している。鳥取県からの要請により10月からは市立病院総合診療科医師1名を智頭病院院長として派遣している。その他市立病院でマンモグラフィの二次読影業務を行っている。	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	本事業を継続して実施	実施	継続	継続	継続
35	鳥取市立病院、公立浜坂病院の相互連携事業	鳥取市立病院及び公立浜坂病院の情報共有や相補的な相互連携を行う。	公立浜坂病院からの申し入れがあり公立浜坂病院医師が充足しているため令和3年度末を以て事業終了	その他	本事業を継続して実施	実施	継続	実施なし	実施なし
36	鳥取市夜間・休日急患診療所運営事業	夜間・休日の1次救急医療体制（内科・小児科）を確保するため、夜間・休日急患診療所の運営を行う。	【委託先】鳥取県東部医師会 【実施場所】東部医師会急患診療所（鳥取市富安1丁目58番地1） 【診療時間】 [夜間] 通年（365日）：午後7時から午後10時まで。 [休日] 日曜日・祝日、8月13日から8月15日、12月30日から翌年1月3日：午前9時から午後5時まで。 【患者実績】平成28年度 17,000人、平成29年度 17,735人 平成30年度 16,150人、令和元年度 15,865人 令和2年度 5,909人、令和3年度 7,461人 令和4年度 5,873人（9月末現在）	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	急患診療所の開所	開所	継続	継続	継続
37	病院群輪番制運営支援事業	休日の2次から3次救急医療体制を確保するため、対象病院の輪番日運営に対する支援を行う。	【実施病院】市立病院、中央病院、生協病院、日赤病院の輪番制 【診療時間】日曜・祝日等の休日（第2土曜日含む）並びに年末年始：午前8時30分～翌日の午前8時30分 【実施日数】平成28年度 82日、平成29年度 83日 平成30年度 83日、令和元年度 88日 令和2年度 83日、令和3年度 83日 令和4年度 40日（9月末現在）	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	病院群輪番制の実施	実施	継続	継続	継続
38	ドクターカー導入検討事業	鳥取市立病院にドクターカーを配備し、消防署の要請を受けて医師が救急現場に出動したり、搬送途中の救急車と合流することで、迅速に救急患者に対応する。	ドクターカー導入について検討する中で、鳥取県東部におけるドクターカーを必要とするような緊急・重篤な案件に対応する三次救急の担い手は鳥取県立中央病院で鳥取市立病院が対応する二次救急の場での需要が考えにくいこと、救急科の専門医師がおらず複数の科の医師で救急患者の対応を行っている状況下でドクターカーを導入するに足る医師の確保は困難であることが分かっており、ドクターカーの導入は困難である。	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	研究する	-	研究	研究	研究
39	鳥取砂丘コナン空港利用促進事業	鳥取砂丘コナン空港の利便性向上や利用促進を行う。	「鳥取空港の利用を促進する懇話会」の事業として、新聞・情報誌等への広告掲載、旅行会社への商品造成支援、鳥取砂丘コナン空港を会場に空港利用促進イベントなどを実施。	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	東京便の搭乗者数（人／年）	353,541	400,000	未確定	未確定
40	公共交通機関のパスカード、ICカードの発行・運用検討事業	JR・智頭急行・若桜鉄道・日交バス・日ノ丸バス・全但バスなどの公共交通全てで使用可能なICカードの発行・運用に係る各種検討を行う。	■交通事業者、キャッシュレスシステム開発事業者、鳥取県と導入に向けた検討会を実施。（5/17、6/29、8/26）	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	研究・検討会議の実施（回）	0	2	3	4

ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I				
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R4)	R4年9月末 現在値	R4年度末 見込
41	山陰新幹線の整備促進のための要望活動等事業	関係市町と連携し、山陰新幹線の早期実現をめざし、関係機関への要望活動、啓発活動を積極的に実施。	要望活動の実施など、整備計画格上げに向けた取組を推進する。	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	国等への要望活動回数及びシンポジウム等開催回数 (回)	2	2	0	1
42	公立鳥取環境大学が実施する教育・研究活動との連携事業	圏域の活性化に向けて活動する「とっとり麒麟地域活性化プラットフォーム」へ参画し、大学、経済団体等と連携し地域課題の解決に取り組む。	2月に「まちなかキャンパス」で行う「とっとり麒麟地域活性化プラットフォーム地域連携推進会議」において、圏域自治体・関係団体等と本学との連携について意見交換を実施予定。また「岩美むらなかキャンパス」において、岩美町商工会役員と学生とで地域振興策等について意見交換を実施予定。 【鳥取市】 「とっとり麒麟地域活性化プラットフォーム」の活動拠点である「まちなかキャンパス」での大学の地域貢献活動事業は、コロナ禍のため今年度、学内向けの事業（プロジェクト研究、大学院生授業等での利用）のみ実施予定。 【岩美町】 公立鳥取環境大学の整備した「岩美むらなかキャンパス」ではコロナ禍のため今年度、学内向けの事業（ゼミ活動等での利用）のみ実施予定。	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	公立鳥取環境大学が実施する教育・研究活動と関係市町との連携事業数（事業）	2事業（1市1町）	全市町で1事業以上実施	0	2
43	看護・医療系人材の育成・確保事業	看護職員実習指導者の養成に努めるとともに、看護職員実習指導者の養成のための支援を行う。	【事業詳細】 県等が主催する看護職員実習指導者養成講習会に職員を受講させる医療機関（県立の病院等は除く）に受講者の受講期間（約2か月）の基本給の一部を補助。 【補助対象実績】 平成28年度 13人、平成29年度 13人 平成30年度 13人、令和元年度 3人 令和2年度 0人（※コロナ感染拡大により中止） 令和3年度 7人、令和4年度 4人（9月末現在）	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	看護職員実習指導者養成講習会の受講者数（人/年）	13	12	4	4
44	医療への関わり方の圏域住民への周知事業	医療の関わり方などについて、講演会等を開催し住民に周知する。	対面形式による市民医療講演会を9月から再開し、また、ケーブルテレビ放送や動画共有サービスにより地域住民が講演内容を視聴できるようにしている。	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	継続して実施する。	実施	継続	継続	継続
45	病児・病後児保育事業	就労等により、子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合に利用するための各市町の病児・病後児保育施設を、圏域内での相互利用が可能となるよう広域化を図る。	広域利用の実施状況 (病児保育施設：鳥取生協病院、病児保育室とくよし、コモド第三保育園瓦町) (病後児保育施設：鳥取市立病院) 【令和4年4月から令和4年9月までの実績】 ・病児・病後児保育利用者数 58人 八頭町 51人（生協病院9人、とくよし40人、市立病院2人） 岩美町 7人（とくよし7人） ・利用回数 58回	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	本事業を継続して実施	実施	継続	継続	継続
46	障がい者歯科診療所運営支援事業	一般歯科医院での診療が難しい心身障がい児（者）の歯科保健指導・歯科診療を行う鳥取県口腔総合保健センターの安定的な運営を支援することで、障がい児（者）の口腔健康の維持・向上を図る。	・障がい者歯科診療事業 毎週木曜日の午後に診療を行う。（医師2名体制） 延べ利用者数：（4～9月）288名（圏域全体の数字） 【内訳】 鳥取市244名、岩美町11名、八頭町19名、智頭町3名、若桜町0名、新温泉町10名、倉吉市1名 ・口腔疾患予防処置及び歯科相談診療 毎週火曜日の午後にフッ化物塗布、初期う蝕（虫歯）の処置等の歯科疾患予防処置・保健指導及び各種相談の受付・助言を行う。 延べ利用者数：（4～9月）13名（圏域全体）	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	継続して実施する。	実施	継続	継続	継続

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I				
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R4)	R4年9月末 現在値	R4年度末 見込
47	麒麟のまち圏域における新型コロナウイルスワクチン接種の共同実施事業	圏域内の住民が安心して円滑に新型コロナウイルスワクチン接種を受けられる体制を構築するため、圏域内の構成市町が共同でワクチン接種を実施する。	圏域内接種に係る協力医療機関における共同でのワクチン接種を令和3年6月1日から実施し、圏域内の住民への円滑なワクチン接種及び接種に係る負担軽減（「住所地外接種届」不要の取扱い）を図っている。 <圏域他市町の住民への接種等件数（R4.4～R4.8）> 鳥取市：1523件、岩美町：369件、若桜町：40件、智頭町：94件、八頭町：79件、香美町：39件、新温泉町：37件 合計2181件	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	本事業を継続して実施	-	継続	継続	継続
48	圏域内での在宅医療・介護連携の推進事業	圏域内における医療や介護の連携を強化し、住民の意向が強い在宅療養を推進するための地域資源の連携・活用に取り組む。	●鳥取県東部1市4町は協働し、鳥取県東部医師会へ事業委託し事業を実施。（全8項目を実施中） ●新温泉町及び香美町を含めた1市6町で、病院や介護施設でも使用できうるACPノート（改訂版）を共同作成し、ACPの普及啓発を共同実施。 ●鳥取県東部で実施するACPノート研修会の美方郡関係者への周知。 ※コロナの影響により、参集しての課題検討する会議及び研修会の開催が出来ないが、現在はZOOMを導入し開催している。	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	在宅医療・介護連携推進事業の実施（実施事業数）	全8事業	全8事業	全8事業	全8事業
49	社会福祉協議会各種相談事業	社会福祉協議会が実施している各種相談事業（法律、司法書士、人権、行政、身障、教育、青少年等）について、圏域の住民を対象を広げて相談を受け付ける。	社会福祉協議会が実施している各種相談事業（法律、司法書士、人権、行政、身障、教育、青少年等）について、圏域の住民を対象を広げて相談を受け付けている。連携町社会福祉協議会を通じて住民へ周知を行う。	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	社会福祉協議会各種相談件数（件/年）	118	110	117	200
50	鳥取県東部聴覚障がい者センター活用事業	鳥取県東部聴覚障がい者センターを活用し、圏域内で均衡した聴覚障がい者の社会参加促進を支援する。	【聴覚障がい者意思疎通支援事業】 手話通訳者派遣（4～9月）1,286件（圏域全体の数字） 内訳：鳥取市1,206件、岩美町2件、八頭町14件、智頭町64件、若桜町0件 要約筆記者派遣（4～9月）37件（鳥取市36件、八頭町1件） 【手話奉仕員養成研修事業】 29名申込 【聴覚障がい者生活支援事業】 月2回 延べ参加者数：160名（圏域全体）	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	手話奉仕員養成研修受講者数（人/年）	34	34	29	29
51	保育者等を対象とした障がい児支援の在り方等の研修実施事業	障がい児等への支援を行う保育者等に対し、療育を含めた各地域における障がい児等支援に関する理解を深める。	●地域療育セミナーを12月～1月にオンライン配信により実施予定。 ●児童発達支援センター若草学園における参加型公開療育の実施は、新型コロナウイルスの拡大により中止。次年度は分散実施等について検討のうえ実現を目指す。 ●地域療育関係職員研修会は2月に実施予定。	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	保育者等を対象とした障がい児支援の在り方等の研修実施、積極的な研修参加案内（回/年）	2	3	0	2
52	点訳朗読奉仕員養成研修事業	視覚に障がいのある方の福祉に理解と熱意を有する方に、点訳・朗読の指導を行い、奉仕員を養成する。	【点訳奉仕員養成講習会】 受講者実人数：5名 内訳：東部0名 【朗読（音訳）奉仕員養成講習会】 受講者実人数：7名 内訳：東部0名	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	点訳朗読奉仕員養成講座受講修了者数（人）	5	5	0	0

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I				
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R4)	R4年9月末 現在値	R4年度末 見込
53	地域活動支援センター事業	障がいのある人が、地域活動支援センターで創作活動や生産活動、社会との交流活動等を行うことにより社会参加を促進し、その能力や適正に応じ、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう支援を行うもの。サマーハウスが、創作活動や社会との交流の場等として設置する地域活動支援センターの運営を支援する。	生活支援事業、相談事業、地域交流活動、その他地域生活支援事業を行っている。 延べ利用者数：(4~9月) 1,999人(圏域全体) 鳥取市以外の利用者は約1割	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	年間延べ参加者数(人)	6,500	6,500	1,999	4,000
54	地域食堂支援事業	地域住民が主体的に地域課題の解決に取り組む「地域食堂(こども食堂)」とそれを支援する各団体を結びつける役割を担う「鳥取市地域食堂ネットワーク」を中間支援組織として強化し、広域的かつ効果的な支援を行うための事務局体制の確立・強化を図る。 ※「地域食堂」とは、子どもを中心に地域の様々な人々が集う居場所となる食堂	地域住民が主体的に地域課題の解決に取り組む「地域食堂(こども食堂)」とそれを支援する各団体を結びつける役割を担う「鳥取市地域食堂ネットワーク」を中間支援組織として強化し、圏域において効果的な支援を行うための事務局体制の確立・強化を図ってきた。 令和4年度も、引き続き、民間資金を活用して、全国各地から届く食材等を圏域内への配布するために拠点として、業務用冷蔵庫・冷凍庫等を設置するとともに、圏域の関係者の協力を得て物流ネットワークの構築を図っている。	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	地域食堂ネットワークで支援する「地域食堂(こども食堂)」数	4	29	30	30
55	博物館施設等活用連携事業	小中学校児童生徒の圏域内学習に寄与するため、圏域内博物館施設を学校教育や子どもたちの体験学習へ活用する。	コロナ禍の影響で鳥取市以外から鳥取市の博物館施設の利用がなく、また、鳥取市から他町村の資料館施設等の利用もなかった。鳥取市内の学校については目標値を上回っている。	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	博物館施設等活用連携事業実施回数(回/年)	0	6	7	7
56	圏域の文化財情報連携事業	圏域各市町が連携して、圏域内全体の文化財情報を通覧できるようにする。	文化財情報をホームページへ掲載するため、情報の収集や整理を行った。鳥取市において「歴史文化基本構想」が完成し、基盤となる鳥取市分の文化財情報を掲載するための準備ができた。現在、鳥取市分については令和5年度公開を目途に準備を進めているが、各町との協議を進められなかった。	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	圏域文化財情報公式ウェブサイトページのアクセス数(件)	3,000	3,400	0	0
57	森のようちえん運営・活用事業	智頭の森というフィールドを学び舎として積極的に活用し、雨や雪の日でも毎日森に出かける野外保育により、幼児期の心と体の育成に取り組む。	智頭の森というフィールドを学び舎として積極的に活用し、雨や雪の日でも毎日森に出かける野外保育により、幼児期の心と体の育成に取り組んだ。	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	森のようちえんへの入園を目的とした移住者の数(人)	47人(H22~26)	120	114	116
58	麒麟のまち交流スポーツ大会事業	各市町又は圏域内市町間で行っているスポーツ大会を、圏域全体に参加対象を広げることにより、スポーツを通じた地域間の交流を図る。 鳥取市：プロポーザルによる事業決定 新温泉町：新温泉町スポーツレクリエーション記録会	【鳥取市】 「麒麟のまちスポーツ振興事業補助金」について、スポーツ事業を公募し、令和4年6月6日に審査会を実施。3件の事業を採択した。 ○第3回麒麟のまちBEACH SOCCER GAMES 令和4年10月15,16日(予定) 参加：1160人(見込み) ○鳥すば主催～麒麟のまちスポーツ振興事業～第2回藤井瑞希カップ 令和4年12月10,11日(予定) 参加：520人(見込み) ○鷲峯山麓ハーフマラソン 令和4年11月27日(予定) 参加：800人(見込み) 【新温泉町】 ○新温泉町スポーツレクリエーションフェスティバル 令和4年11月26日(予定) 参加：100人(見込み)	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	参加者数(人)	159	280	0	2,580

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I				
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R4)	R4年9月末 現在値	R4年度末 見込
59	国際理解推進交流事業	鳥取市に配置の国際交流員（ドイツ担当1人、韓国担当1人、中国担当1人）が市民向けに行っている国際理解講座（料理教室、文化の紹介、語学等の講座）を6町で希望する団体等へも広げ、圏域全体における国際理解の推進を図る。	◆事業実績 小学校・公民館などの講座に派遣 講座回数：19回（9月末現在）	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	国際交流員の国際理解講座等への派遣回数（回）	87	106	19	46
60	公共図書館の相互利用事業	圏域内に居住している人はだれでも、圏域内の各公共図書館で資料が借りられる相互利用を行う。圏域全体で読書活動の推進、利便性の強化を図る。（ただし、利用者が各館に出向き貸出・返却を行うこととする。また、マイナンバーカードを図書カードとして活用することについては、引き続き検討する。）	①香美町加入（令和2年4月1日）により、広報チラシを新たに作成し、周知を図った。 ②各館の利用案内を設置し、周知を図った。 ③圏域内で開催される研修に参加し、職員のスキルアップを図った。	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	在住外登録者の利用冊数(総人口100人当たり)（冊）	8.7	9.6	5.9	12.8
61	麒麟のまちアカデミー運営事業	鳥取市文化センターを生涯学習講座や講師等の情報の拠点とし、鳥取市尚徳大学（高齢者向け講座）、鳥取市民大学（成人向け講座）への麒麟のまち圏域全体から参加を受け入れる「麒麟のまちアカデミー」を運営し、圏域相互の情報共有等により圏域全体の生涯学習の活性化を目指す。	・鳥取市尚徳大学（高齢者向け講座） 対面講座 ・鳥取市民大学（成人向け講座） 対面講座	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	生涯学習講座の参加者の満足度（%）	-	0.8	1.0	0.9
62	野生鳥獣被害防止事業	鳥獣被害防止対策連絡調整会議を開催するとともに、侵入防止柵、一斉駆除、捕獲奨励金、捕獲器具購入等に対する支援を行う。	【鳥取市】 侵入防止柵、一斉駆除、捕獲奨励金、捕獲器具購入等に対する支援 【岩美町】 捕獲奨励金、侵入防止柵、捕獲器具購入等に対する支援を実施 【若桜町】 捕獲奨励金、侵入防止柵、カラスの一斉捕獲、鳥獣捕獲、捕獲檻管理、クマ出没対応等に対する支援 【智頭町】 捕獲奨励金 等 【八頭町】 鳥獣捕獲、侵入防止柵設置 等 【香美町】 捕獲奨励金、侵入防止柵に対する補助、捕獲器具購入に対する補助、狩猟免許取得に対する補助 【新温泉町】 侵入防止柵、捕獲奨励金、捕獲器具導入補助、新規免許取得者及び既存免許取得者に対する補助、狩猟期処理加工施設搬入補助	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	年間被害面積（a）	3,361	2,979	1,247	3,580
63	射撃場整備・管理運営事業	農作物に被害を与える野生鳥獣の捕獲のための射撃練習や射撃講習ができる射撃場を整備し、銃猟者を育成・確保する。	東部圏域に銃猟者の技能講習が可能な射撃場（捕獲技術高度化施設）鳥取クレー射撃場の運営	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	鳥取クレー射撃場利用者数（人／年）	420	450	637	788
64	いなばのジビエ推進協議会支援事業	猪や鹿等の有害鳥獣をジビエとして有効活用するため、先進事例研究やイメージアップ及び消費拡大に向けた取組を行う。	ジビエハンター研修（1回 19人）、ジビエハンター研修（国）（1回 38人）、クラフト体験（1回 10人） （予定） 料理教室（2回 20名） スクール交流会（1回 20名） 料理講習会（1回 40名）	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	いなばのジビエ推進協議会主催イベント入場者数（人／年）	20,000	25,000	67	147

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I				
					指標（単位）	基準値 (H28)	目標値 (R4)	R4年9月末 現在値	R4年度末 見込
65	グリーンツーリズム推進事業	都市住民との交流、グリーンツーリズムに取り組んでいる地域・団体で構成するグリーンツーリズム連絡会等の活動やそれぞれの地域活動を支援する。	【鳥取市】 R4年7月19日 鳥取市グリーンツーリズム連絡会主催で令和4年度鳥取市グリーンツーリズム連絡会研修会開催 参加者15名 【香美町】 実績なし 【新温泉町】 令和4年度はコロナウイルス感染症の拡大に伴い中止。今後の予定は未定。ホームページの修正、更新を行うのみ。	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	グリーンツーリズム関連団体が主催する体験事業の参加者総数（宿泊を伴うもののみ）（人）	1,485	2,440	15	65
66	森林セラピー事業	智頭町の90%以上を占める森林資源を活用し、住民の健康増進はもとより、都市住民との交流・誘客・企業提携などによる地域の活力創造と、疎開の町としての癒しの里づくりを進める。	【鳥取市】 実績なし 【智頭町】 新規企業2社と連携協定を締結。11月以降のイベントでPR営業を再開予定。	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	森林セラピー導入企業数（社）	0	16	0	2
67	麒麟のまち創生戦略会議運営事業	麒麟獅子文化をはじめとする、さまざまな文化・歴史を共有する、因幡と但馬地域のそれぞれの市町が、行政、文化、経済等の連絡調整を行い、各市町の発展と県境地域の振興を図る。 （構成市町：鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、兵庫県香美町、新温泉町）	○令和4年5月19日：麒麟のまち創生戦略会議を開催。 新型コロナウイルスワクチン接種における共同実施体制、日本遺産「麒麟のまち推進協議会」の取組状況、（一社）麒麟のまち観光局の取組状況、地方創生推進交付金、JR西日本のローカル線に関する課題認識と情報開示に対する対応、第2期因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョンの策定について首長協議を実施。 ○令和4年11月7日：麒麟のまち創生戦略会議・サミットを開催予定。	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	サミット開催数（回）	1	1	0	1
68	地域づくり活動発表会開催事業	各地域の地域づくり活動を行う団体・者の取組状況の発表や意見交換の場を設定し、活動の成功例・失敗例、課題問題点などの情報共有を進めることで、地域が連携した地域活動の推進を図るとともに、地域相互間の往来を促す取組を行うことで、地域周遊ラインの形成を図る。	とっとりふるさとリーダーアカデミーの各種ゼミを実施。成果発表会を実施予定。	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	参加団体数（回）	0	15	7	15
69	圏域防災力の向上事業	圏域内における防災情報連携により「自助・共助・公助」それぞれの機能を促進させ、圏域防災力の向上に取り組む。	○令和4年10月2日 各町防災担当職員合同研修実施（鳥取市主催の（「鳥取市女性防災リーダー及び鳥取市防災リーダー養成再受講者研修」と合同開催）	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	防災情報連携事業数（事業）	0	2	0	1

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I				
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R4)	R4年9月末 現在値	R4年度末 見込
70	ごみ減量化推進事業	ごみに対する啓発事業を各市町で連携して 行っていく。また、生ごみ堆肥化容器の購入 促進等の具体的な減量化の取り組みを行い、 家庭から排出されるごみの減量化を図る。	【鳥取市】生ごみ堆肥化容器購入補助 19件：68,500円 生ごみ堆肥化基材購入補助 19件：29,300円 段ボールコンポスト講習会 1回 【岩美町】コンポスト購入補助 0件：0円 生ごみ処理機購入補助 4件：99,000円 【若桜町】電動生ごみ処理機購入補助(モーター) 0件：0円 電動生ごみ処理機購入補助 0件：0円 コンポスト購入補助 6件：21,000円 ポカシ水肥専用容器購入補助 3件：3,900円 【智頭町】生ごみ処理機購入補助 0件：0円 生ごみ分別収集 30t 【八頭町】コンポスト購入補助 1件 生ごみ分別収集 107t 【新温泉町】新温泉町生ごみ自家処理機購入費補助金 コンポスト購入補助 1件：5,000円 電気式生ごみ処理機購入補助 4件：86,400円	C：コロナ対 応をしながら 実施、影響は 小さい	可燃ごみの処理 量 (t)	61,612	58,504	29,615	56,591
71	J R 山陰本線利用 促進事業	山陰本線の利用促進や利便性の向上を図るた めの取組や要望活動を行うとともに、沿線地 域の活性化を図る。	【鳥取市・岩美町】 「鳥取県東部地域鉄道利用促進実行委員会（事務局：県交通政策課）」として、山陰本線を利用した旅行に係る経費 支援を実施。 【新温泉町】 1. 連携事業 ①山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会として、事業を実施 ②兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会として、事業を実施 ③駅前レンタサイクル利用料補助事業のチラシ配布とHP掲載 2. 新温泉町の取組 ①JR山陰本線鉄道往復利用支援事業 ②浜坂駅構内図書スペース「みんなの文ちゃん文庫」の維持管理 ③職員e-出張事業 ④浜坂駅トイレの維持管理 ⑤汽車通学定期券購入費補助（町内中学校に通学する生徒を対象） ⑥鉄道遺産群パンフレットの配布 【香美町】 1. 連携事業 ①山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会として、事業を実施 ②兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会として、事業を実施 ③駅前レンタサイクル利用料補助事業のチラシ配布とHP掲載 2. 香美町の取組 ①駅トイレ、駐輪場等の維持管理 ②鉄道利用促進助成金の創設による利用促進	B：コロナ対 応をしながら 一部のみ実 施、影響は中 程度	山陰本線（佐津 ～青谷間）の乗 客数（千人/ 年）	3,856	4,110	未確定	未確定
72	智頭線・因美線利 用促進事業	智頭線や因美線の利便性向上や利用促進等 の事業を行い、沿線地域の活性化を図る。	■「智頭線利用促進協議会（事務局：県交通政策課）」として、利用促進に関するチラシを作成し配布。	D：計画ど おり実施、も しくは実施見 込み	因美線（鳥取～ 那岐）、智頭線 （智頭～山形） の乗客数（千人 /年）	3,345	3,350	未確定	未確定
73	広域バス路線等運 行支援事業	圏域内における広域的なバス路線、また主要 なバス路線や鉄道等と連携して運行する地域 交通バスに対する支援を行う。 合わせて、鉄道と路線バス、各市町運営バス 等との接続の利便性を向上させるため、所要 の調整を行う。	【鳥取市】 圏域内で運行されている路線バスの運行事業者に対し、運行経費の一部を支援する。 【各町】 各町と鳥取市を結ぶ路線バスの維持のため、バス事業者に対して運行経費の一部を支援する。	D：計画ど おり実施、も しくは実施見 込み	路線バス利用者 数（人/年）	2,733,000 (H30)	減少抑制年 5%以内	未確定	未確定

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I				
					指標（単位）	基準値 (H28)	目標値 (R4)	R4年9月末 現在値	R4年度末 見込
74	若桜鉄道利用促進事業	若桜鉄道の利便性向上や利用促進のためさまざまな取組を行う。 ①若桜鉄道利用促進 若桜鉄道利用促進実行委員会が行うシルバー回数券への助成、ミニ時刻表の作成等の若桜鉄道の利用促進事業や観光ツアーの誘致等の観光振興事業に対して支援を行う。 ②若桜鉄道観光列車運行事業 観光列車「昭和」の整備と、周辺市町と連携したツアー商品の造成やグッズ開発、観光施設等のPRを行う。	【鳥取市】 「若桜鉄道利用促進実行委員会（事務局：若桜町）」が中心となって、イベント助成や観光列車を活用した商品開発等に対する助成等を実施 【若桜町】 ・シルバー回数券・免許返納者への助成を実施 ・観光列車を活用したツアー造成及びPR活動を実施 ・通学定期の助成を実施 ・ミニ時刻表の全戸配布を実施（3月） ・観光列車オリジナルグッズの開発、製作 ・アフターコロナに向けたツアー商品造成、京都鉄道博物館へ車両特別展示、35周年記念式典・記念イベント開催 【八頭町】 ・ミニ時刻表の作成、全戸配布を実施（10月、3月）また、若桜鉄道沿線各駅で開催されるイベント等への運営助成を実施（5件） ・鳥取県が行う通学費助成のほか、補助対象基準外についても通学費助成を実施 ・観光列車を軸にして、観光ツアーの誘致並びにツアー商品造成等を実施 ・若桜鉄道臨時貸切列車利用料を無料にするキャンペーンを実施し、鉄道を軸とした周遊促進事業を展開 ・若桜町と共同で「若桜鉄道感謝祭（12/5）」を実施	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	若桜鉄道の乗客数（人／年）	325,000	410,000	未確定	未確定
75	麒麟のまちを巡る交通網の整備検討事業	圏域を移動できる交通機関の整備充実と高規格道路開通を見据えた高速バスの運行を検討する。 ※各事業者との調整、ニーズ把握などを踏まえ事業化を研究。	湯村鳥取間を結ぶ高速バスの実証実験及び利用が低迷し令和3年3月末で廃止となった「ゆめぐりエクスプレスバス」の状況から、バスによる圏域の移動はニーズに即していないと結論付け事業を完了する。	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	要望活動数（回）	4	4	1	1
76	JR鳥取駅周辺の広域交通結節機能の向上促進事業	JR鳥取駅周辺を麒麟のまち圏域の広域交通結節点と位置づけ、施設整備及び機能強化・充実を図る。	令和3年度に事業完了。（鳥取県東部バス路線図の案内番号設定を踏まえ、鳥取バス協会やバス事業者と連携し、鳥取バスターミナルの各種サインの改修を行った。）	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	機能強化・充実件数（回）	0	1	0	0
77	持続可能な生活交通等の維持・確保対策事業	将来にわたり持続可能な生活路線バス等の維持・確保に向けた様々な取組を行う。	■自家用車による通勤から路線バスを中心とした公共交通機関を利用した通勤に転換を図るためのキャンペーンを実施中。 ・麒麟のまち「ノルデ運動」（R4.7.1～R5.3.31） ■AI配車システムを活用した定額制乗合交通の実証実験を実施中。（R4.10.3～R5.3.31） ■鳥取県東部地域MaaS協議会を設立し（R4.5.17）、鉄道・バスの共通バスの実証実験を実施中。（R4.10.10～12/30）	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	路線バス利用者数（人／年）	2,733,000 (H30)	減少抑制年 5%以内	未確定	未確定
78	ICTインフラを活用したコンテンツ交流促進事業	CATVのコンテンツとして、各市町の話題・イベント情報をお互いに情報発信することで地域間の交流を促進させる。	【鳥取市】 広報番組「とっとり知らせたい！」の中で「麒麟のまち放送局」として各町からの提供映像を紹介。毎週1つの町を放送、時間は5分程度。 【新温泉町】 3市町分まとめて毎日繰り返し放送。1日3回。 【八頭町】 3市町分まとめて毎日（3回程度）繰り返し放送。 【岩美町】 月末の土日に3市町分をまとめて放送。1日2回。	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	CATVでの相互放送（継続実施）	実施	継続	継続	継続

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I				
					指標（単位）	基準値 (H28)	目標値 (R4)	R4年9月末 現在値	R4年度末 見込
79	I C T関係機器・データ等の共同調達事業	関係市町村と連携し、共同でI C T関連機器・データ・アプリケーション等の共同調達を行う。※共同調達の対象は鳥取県I C T協議会等での調達対象外となったものなどを対象とする。	鳥取県市町村I C T共同化推進協議会において、当協議会での取り扱い案件の整理がなされた。今後は、当協議会で除外されたシステム等について連携市町と協議し、共同調達の可能性を模索していく。GISシステムの共同調達を検討したが、費用面で効果が出なかったことから、継続検討とし、R2年度以降は研修の共同開催を実施する方向性とした。R4年度の研修開催については、コロナ対策を考慮した上で、実施の検討を行っているところである。	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	共同調達案件数（回）	0	1	0	1
80	武蔵野市家族自然体験交流事業	鳥取県主催の武蔵野市の家族受け入れ（自然体験交流）事業に参画し、地域の特色ある資源を活用した都市との交流事業を実施する。	R4はコロナ禍により中止	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	受入人数（人）	175	175	0	0
81	若者定住促進事業	婚活サポートセンターを活用し、圏域内外の独身男女の出会いの機会を提供する。また、圏域で実施する婚活イベントや婚活サポートの情報共有と事業の連携を行うとともに、若者が集う場の創出を図る。	平成31年3月から会員対象を麒麟のまち圏域に拡大し、「麒麟のまち婚活サポートセンター」として事業実施。新型コロナウイルス感染症の予防対策を行いながら、毎月4回程度のイベントを行っている。9月末までに、婚活相談会や交流会を含むイベントを27回（対面式15回、オンライン12回）開催。R4年度の麒麟のまち圏域各町での開催のイベントは以下のとおり。 ・6月25日(土) 健康公園体育館（新温泉町） ・7月16日(土) Kan-ichi（香美町） ・8月27日(土) 山陰松島遊覧/岩美町大岩交流センター（岩美町） ・9月17日(土) はっとうフルーツ観光園（八頭町） ・10月22日(土) 芦津溪谷（智頭町） ・2月未定 ウィンタースポーツでの婚活（若桜町） ○主な実績 【会員登録数】2075人 メルマガ会員：824人 イベント会員：1,251人（うち鳥取市以外の麒麟のまち圏域住民：226人） 【成婚報告数】3組 【カップル成立数】36組	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	圏域目標人口（人）	265,499	255,500	未確定	未確定
82	麒麟のまち移住相談会開催事業	都市部で開催される移住相談会への共同参加や、関西情報発信拠点施設「麒麟のまち」などを活用した相談会を共同開催する。	ふるさと回帰支援センター主催の全国規模の移住相談会に合同で出展。「麒麟のまち」の統一感や来場者へインパクトを与えるため作成したブース装飾を用いるなどして圏域への移住を呼びかけた。 ▼おいでや！いなか暮らしフェア2022 7月31日（日）開催（大阪） 会場来場者数：1,263人 麒麟のまちブースへは合計32組48人の相談があった。 ▼ふるさと回帰フェア2022 9月25日（日）開催（東京） 会場来場者数：18,169人 麒麟のまちブースへは合計38組52人の相談があった。 対面での相談会が本格的に再開し、多くの来場者につながる機会が得られた。	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	各市町への移住者数（人）	383	619	338	706
83	移住体験ツアー開催事業	圏域への移住定住の促進を目的に、圏域を巡る移住体験ツアーを開催する。	関西圏在住者を対象とした移住促進イベント「麒麟のまちと出会おうDAY！」を実施。 ●移住セミナー（大阪開催） ゲストトーク等を通じて麒麟のまちの特色や各種施策を知っていただく集客型イベントを実施。 8/20 来場者数44名 ●移住体験ツアー（麒麟のまち開催） 実際に麒麟のまちを訪れ地域住民や婚活サポートセンター登録者との交流、各地域での生活体験などを通じて移住後の暮らしをイメージしていただく。 9/3～9/4山のプラン（鳥取市・若桜町・智頭町・八頭町）参加者数3名 9/10～9/11海のプラン（鳥取市・岩美町・香美町・新温泉町）参加者数4名	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	各市町への移住者数（人）	383	619	338	706

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I				
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R4)	R4年9月末 現在値	R4年度末 見込
84	圏域移住促進事業	圏域各市町の「地域の魅力・お試し住宅・空き家・移住イベント・旬の話題・募集」等の情報を集約し、WEB上で一元的に発信することで圏域としての移住ブランド力を高め、圏域への移住促進を図る。	令和3年度、鳥取市移住定住専用ポータルサイトを構築、令和4年4月8日(金)オープンした。鳥取市の移住定住に関する情報に加え、麒麟のまち圏域の魅力や各町の空き家情報などの移住関連情報を発信するコンテンツを掲載。また、移住定住促進に係るイベント情報の掲載や圏域自治体の空き家情報等について随時更新中。	D:計画どおり実施、もしくは実施見込み	各市町への移住者数(人)	383	619	338	706
85	鳥取すごい!ライド支援事業	大規模サイクリングイベント「鳥取すごい!ライド」(主催:鳥取すごい!ライド実行委員会)の運営支援を行い、鳥取市と周辺町村との連携により、自転車を活用した周遊観光の取組を推進する。	【令和4年度】以下の内容で実施予定 実施日:令和4年10月16日(日) 「鳥取すごい!ライド2022」開催 会場:かろいち特設会場(スタート/ゴール) コース:ロング115km、ショート55km エイド:<ロング> ①浦富海岸島めぐり遊覧船のりば ②殿ダム記念広場 ③隼lab. ④OOE VALLEY STAY ⑤RICOH ⑥吉岡温泉一ノ湯 参加者:約500名(予定) <ショート> ①福部町総合支所 ②交流サロンの宮 ③RICOH ④吉岡温泉一ノ湯	C:コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	鳥取すごい!ライドの参加者数(人)	534	600	479	479
86	広報誌リレー記事掲載事業	連携事業の周知を図る目的で、リレー記事方式で連携他市町の情報を掲載	平成30年12月号より隔月にて連携他市町の情報を「麒麟のまちインフォメーション」として、各市町の広報誌へ掲載。 【掲載内容】イベントや事業への参加者募集、紹介など(圏域住民の交流が深まるもの) 【掲載順序】4月:八頭町、6月:香美町、8月:鳥取市 10月:智頭町、12月:若桜町、2月:岩美町	D:計画どおり実施、もしくは実施見込み	掲載回数(回)	2	2	3	6
87	圏域全体のエリアプロモーション事業	圏域全体のCM作成等の、エリアプロモーション事業を行い、圏域ブランドの周知・定着を図ることで、観光客誘致や移住定住の促進につなげる。	【観光・ジオパーク推進課】 ○7月1日から(一社)鳥取市観光コンベンション協会の運営する観光ホームページに圏域内各町の観光情報を一体的に掲載しリニューアル公開開始 ○台湾現地旅行会社と連携し、facebookで麒麟のまち圏域の魅力を発信中(R4.9現在フォロワー数5.1万人)。台湾インフルエンサーを招へいし、ブログ・YouTube等で情報発信(12月~3月予定) ○麒麟のまち圏域の魅力ある観光情報を発信するため観光・ジオパーク推進課公式Instagram『tottoco official(トットコ オフィシャル)』を開設し、運用中(R4.9現在、フォロワー数1,703人)。 ○7月22日より「きりんのまちポートレート2022」(Instagramフォトコンテスト)を開始。 【政策企画課】 ○麒麟のまち圏域において、圏域住民向けに圏域各地域の情報を広報紙で発信することで、各地域に関する相互理解を高め、地域愛着度の向上を図った。【夏号および秋号発行:各15,000部】 ※冬号を令和4年12月頃発行予定。	C:コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	圏域への観光入込客数(人)	4,764,000	8,000,000	未確定 ※鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしており、県の発表が次年の8月頃。 【参考】令和3年: 4,415千人	
88	合同職員研修事業	圏域内職員の資質・能力向上を目的に、合同で職員研修を実施する。また、各市町で実施する独自研修、講演会等の情報共有を図り、相互に職員の受け入れを可能とする体制をつくる。	合同職員研修実施状況 令和4年度は、CS向上研修・OJT研修・キャリアアップ研修・新規採用職員研修・コンプライアンス研修を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、目的の一つである人事交流を含めた研修や集合で成果が見込まれる研修については実施を見合わせ、職員の資質向上を目的とした、コンプライアンス研修のみを実施するよう、現在計画を検討中。	B:コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	圏域内全職員数に占める合同職員研修受講者割合(%)	23	25	0	10
89	職員交流検討事業	圏域内職員の行政マネジメント能力向上、専門分野の知識習得、情報共有のため、各市町の先進的な取組を学ぶ機会(勉強会等)を設ける等の人事交流の実施を検討する。	合同職員研修担当者会 9月に担当者会議を開催(一部オンライン参加)。圏域内の市町から研修の取組内容や合同研修への要望等について取りまとめ情報共有を図った。	C:コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	検討会議の開催(回)	0	1	1	1

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I				
					指標（単位）	基準値 (H28)	目標値 (R4)	R4年9月末 現在値	R4年度末 見込
90	麒麟のまち圏域地域おこし広域隊設置事業	麒麟のまち圏域全体を活動範囲とした「地域おこし協力隊」の設置。 各市町の地域おこし協力隊員とのネットワークを構築し、圏域全体の活性化の取組などの強化を図る。 各市町の共通して抱える諸問題に対し、協力隊を配置することが効果的であると考えられる業務及び隊員の配置について検討していく。	各市町の地域おこし協力隊とのネットワーク構築のため、情報交換会の実施を検討していたがコロナ禍の中実施できていない。 今後は、オンライン（ビデオ会議）などを活用して、まずは圏域内隊員のネットワーク構築と情報共有の促進を図っていききたい。	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	隊員による圏域の各種情報等の情報共有連絡会の開催回数（回）	0	4	0	0
91	男女共同参画推進事業	令和2年4月に鳥取大丸5階へ移転した鳥取市男女共同参画センター「輝なんせ鳥取」を情報発信拠点として、1市6町の男女共同参画に関する取組を紹介するとともに、啓発講座の共同開催など、圏域内の男女共同参画社会の実現を目指して連携した取組を進める。	令和4年度事業実績(9月末時点) ①講座名：男女共同参画入門講座①～男女共同参画って何だろう？～ 開催日：令和4年4月23日（土） 連携団体：鳥取市（9名）、八頭町（1名・CATV） ②講座名：女性の視点を入れた防災基礎講座① 女性視点から見た避難所作り 多様なニーズに配慮していくためには 開催日：令和4年5月28日（土） 連携団体：鳥取市（17名）、八頭町・岩美町（CATV） ③講座名：女性の視点を入れた防災基礎講座② 女性視点の自助・共助・公助 地域における災害時の協力体制 開催日：令和4年6月11日（土） 連携団体：鳥取市（14名）、岩美町（CATV）	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	連携講座の開催回数	0	2	3	5
92	公共施設点検研修の共同実施事業	圏域市町の施設管理担当職員を対象に、公共施設点検研修を実施する。	各自治体における建物点検、住民の安全確保に役立てていただくことを目的として、鳥取市の技術職員による『事務職員でも実施可能な建物点検についての実地研修』を実施 実施日：令和4年6月16日、17日 場所：国府町コミュニティセンター 参加者：17人（うち智頭町2人、東部広域消防局1人）	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	公共施設点検研修の実施回数（回）	2	2	2	2

コロナ対応状況について

対応状況	R4年9月末 時点	【参考】 R3年度末
A：コロナ禍により中止、影響が大きい	11	15
B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	25	31
C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	32	22
D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	23	19
その他	1	3
	92	90